



平成27年7月2日

各 位

会 社 名 株式会社 ダイセキ環境ソリューション  
代表者名 代表取締役社長 二宮 利彦  
コード番号 1 7 1 2 (東証・名証各第一部)  
問合せ先 取締役企画管理本部長 村上 実  
電話番号 052(611)6350 (代表)  
当社の親会社 株式会社 ダイセキ  
代表者名 代表取締役社長 柱 秀貴  
コード番号 9 7 9 3 (東証・名証各第一部)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年4月7日に発表いたしました平成28年2月期(平成27年3月1日から平成28年2月29日まで)の第2四半期(累計)及び通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 業績予想の修正について

(1) 平成28年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年3月1日～平成27年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,873	714	718	424	60 81
今回修正予想(B)	8,731	958	959	566	81 05
増減額(B-A)	1,858	244	240	141	—
増減率(%)	27.0	34.2	33.6	33.2	—
(ご参考)前期実績 (平成27年2月期第2四半期累計期間)	5,969	687	687	407	58 28

(2) 平成28年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,178	1,344	1,345	787	112 66
今回修正予想(B)	13,636	1,367	1,365	798	114 32
増減額(B-A)	458	22	19	11	—
増減率(%)	3.4	1.6	1.4	1.4	—
(ご参考)前期実績 (平成27年2月期通期)	12,842	1,225	1,222	714	102 31

## (2) 修正理由

当第1四半期連結会計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策の効果もあり、企業業績や雇用情勢の改善が進むなど、景気は緩やかな回復基調にありました。しかしながら、消費税率の引き上げに伴う影響の長期化や、中国をはじめとする新興国の景気減速懸念など、依然として先行きの不透明感を残しながら推移いたしました。

当社グループの業績に大きな影響を及ぼす不動産市況は、ここ数年減少傾向にあった土地取引も、平成24年より増加に転じ、平成26年は若干減少したものの、平成27年に入りもち直し傾向にあります。一方、住宅市場においては消費税増税に伴う駆け込み需要の反動の影響が長期化し、新設住宅着工件数は前年を下回る状況が続いておりますが、片や建設業界においては、復興事業や防災・減災事業により公共投資は底堅く、民間設備投資も企業業績の回復を背景に堅調に推移しております。このように当社グループを取り巻く環境は一部懸念材料を抱えた状況ではありますが、比較的堅調に推移してまいりました。

当社グループの当第1四半期累計期間における事業活動につきましては、各地域とも概ね順調に推移する中、関東地区で受注した大型案件について、年間を通じて均等に処理することを想定して予算を策定しておりましたが、現場の工程の都合上、第1四半期に大半を処理することとなり、第2四半期累計期間の業績に大きく影響することとなりました。

その結果、第2四半期累計期間及び通期における売上高、営業利益、経常利益及び四半期純利益（当期純利益）につきましては、平成27年4月7日に公表しました業績予想を上回る見通しとなったため、業績予想を修正いたします。

※上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上